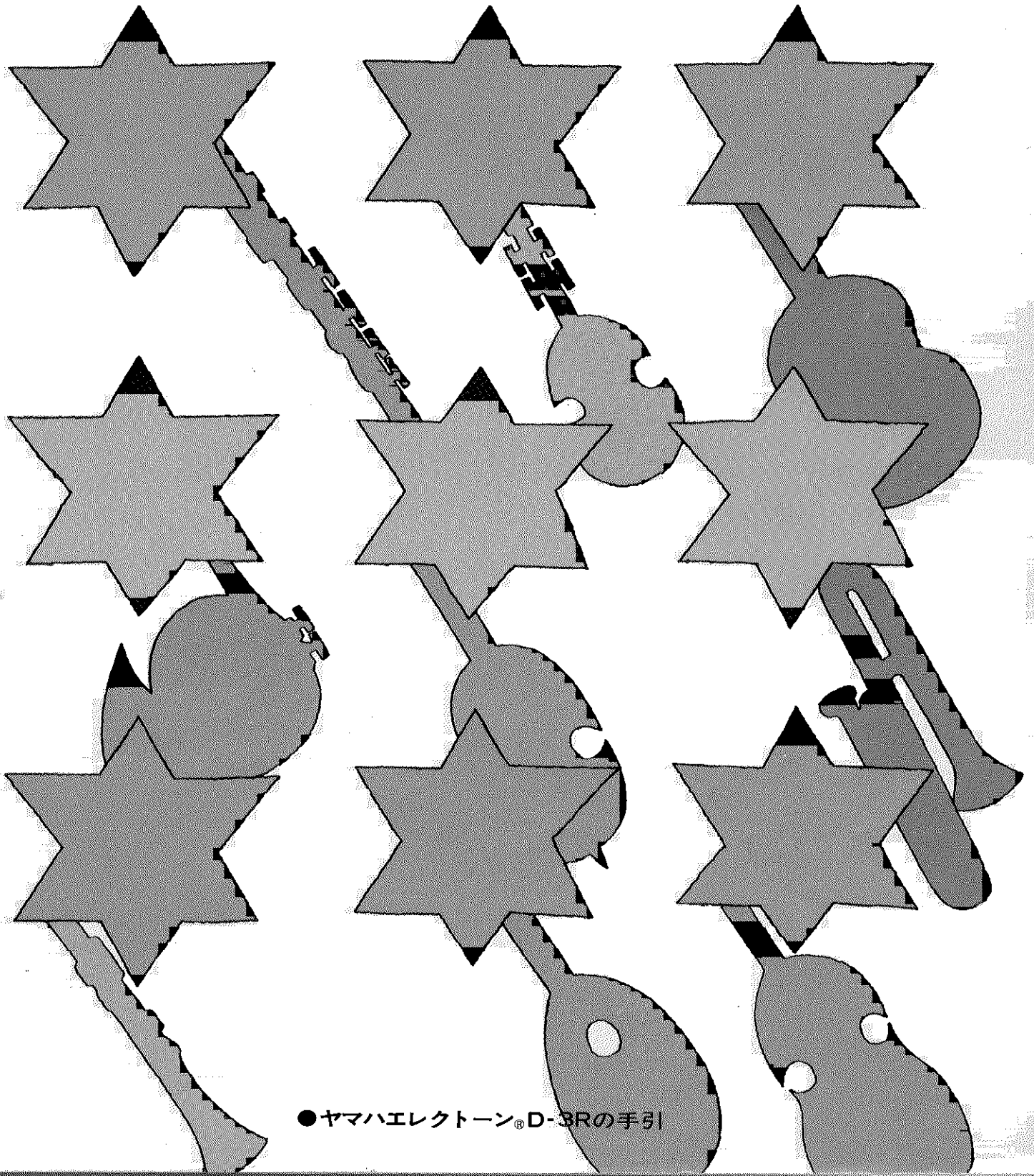
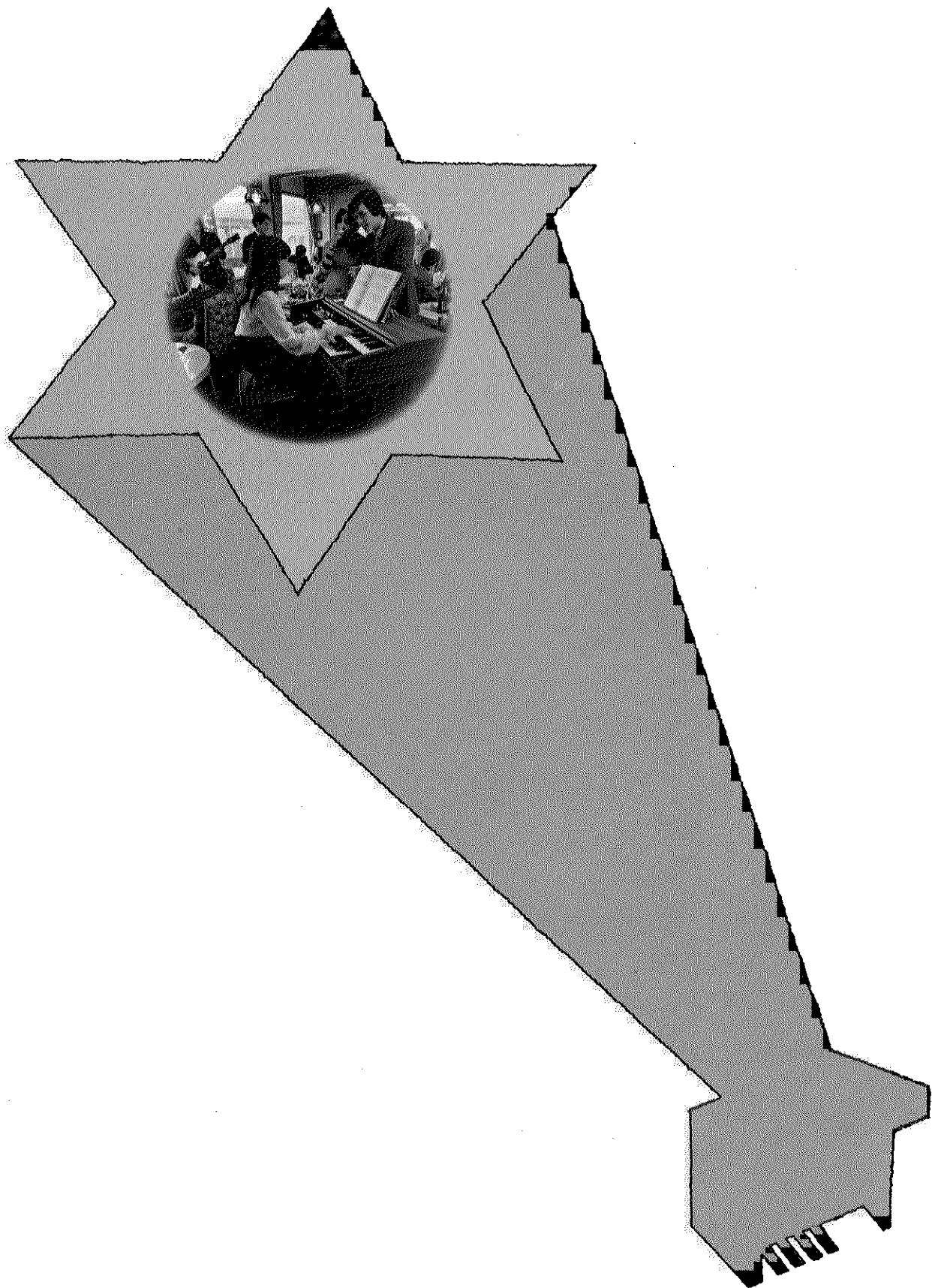


YAMAHA ELECTONE®

D-3R



D-3Rの各部の名称	2
トーンレバー・エフェクトレバーについて	4
パーカッション・コントロールレバーほか	6
タブレットスイッチ・カブラーについて	8
オートリズムのすばらしい効果	10
D-3Rの仕様と音域表	13
D-3Rの各端子	14
D-3Rの調律法	15
D-3Rのヒューズ交換	17
故障でない現象	18
保存法	21
保証とサービスシステム	22
おとくなサービス依頼	23
エレクトーンの附属品	表 3

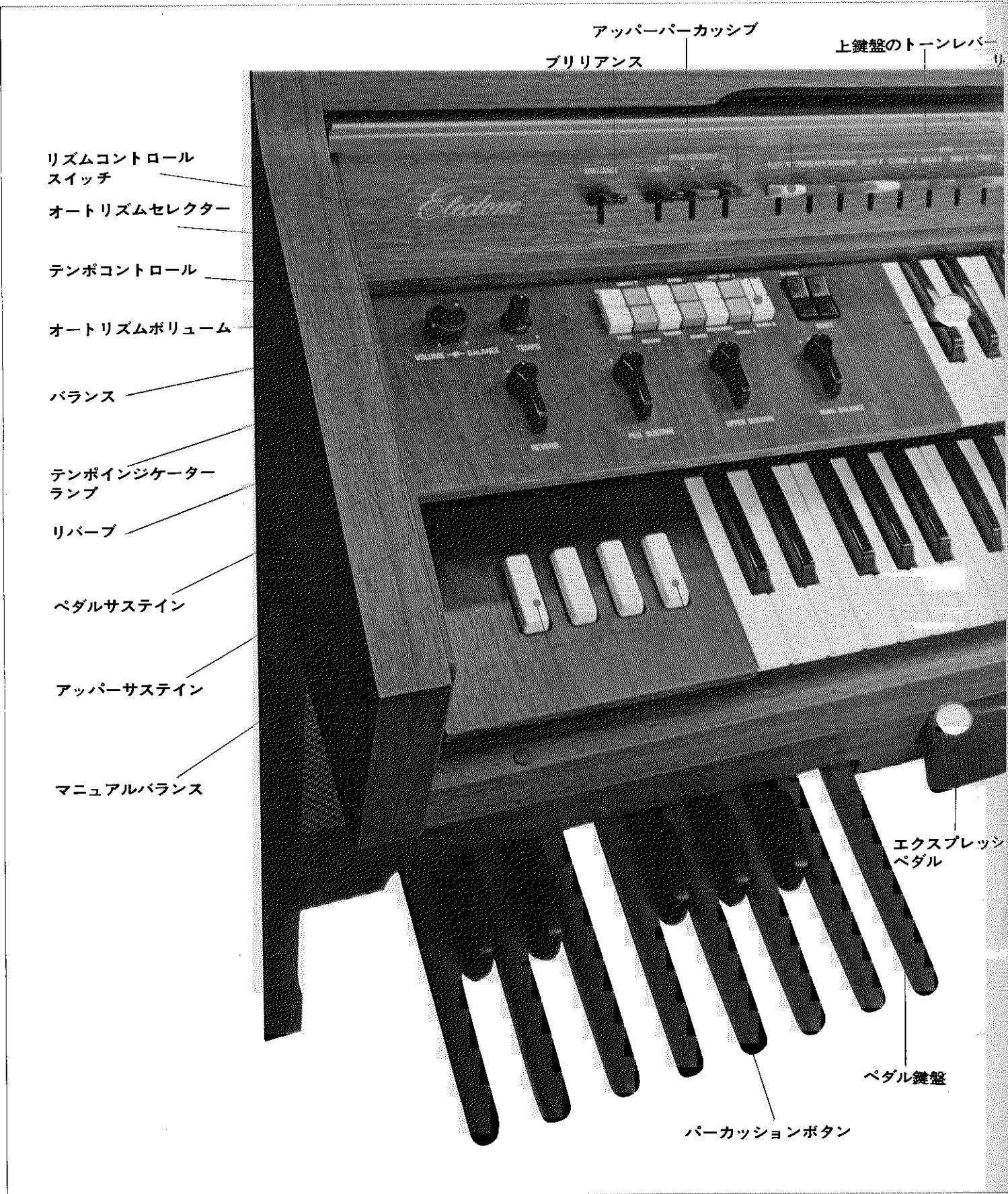


ヤマハエレクトーンD-3R型
この格調高く、しかも親しみやすいデザインと、比べようのない音の変化が、今日からあなたのもの。世界のヤマハが、音楽を愛する人のために、心をこめて創りあげた

傑作です。親しいお友だちや、ご家族とご一緒に、新しい音の空間を創造し、表現して、音楽の世界を散策しようではありませんか。楽しいときも、悲しい時も、またお仕事でお疲れになったときも、

きっとあなたを《心のふる里》へひきもどしてくれることでしょう。さあ、バロック音楽から、ジャズポップスにいたるまで、あなたの心の中に湧きあがってくるメロディを思いのまま演奏してください。

D-3R の各部の名称



リズムコントロール
スイッチ
オートリズムセクター

テンポコントロール

オートリズムボリューム

バランス

テンポインジケータ
ランプ

リバーブ

ペダルサステイン

アッパーサステイン

マニュアルバランス

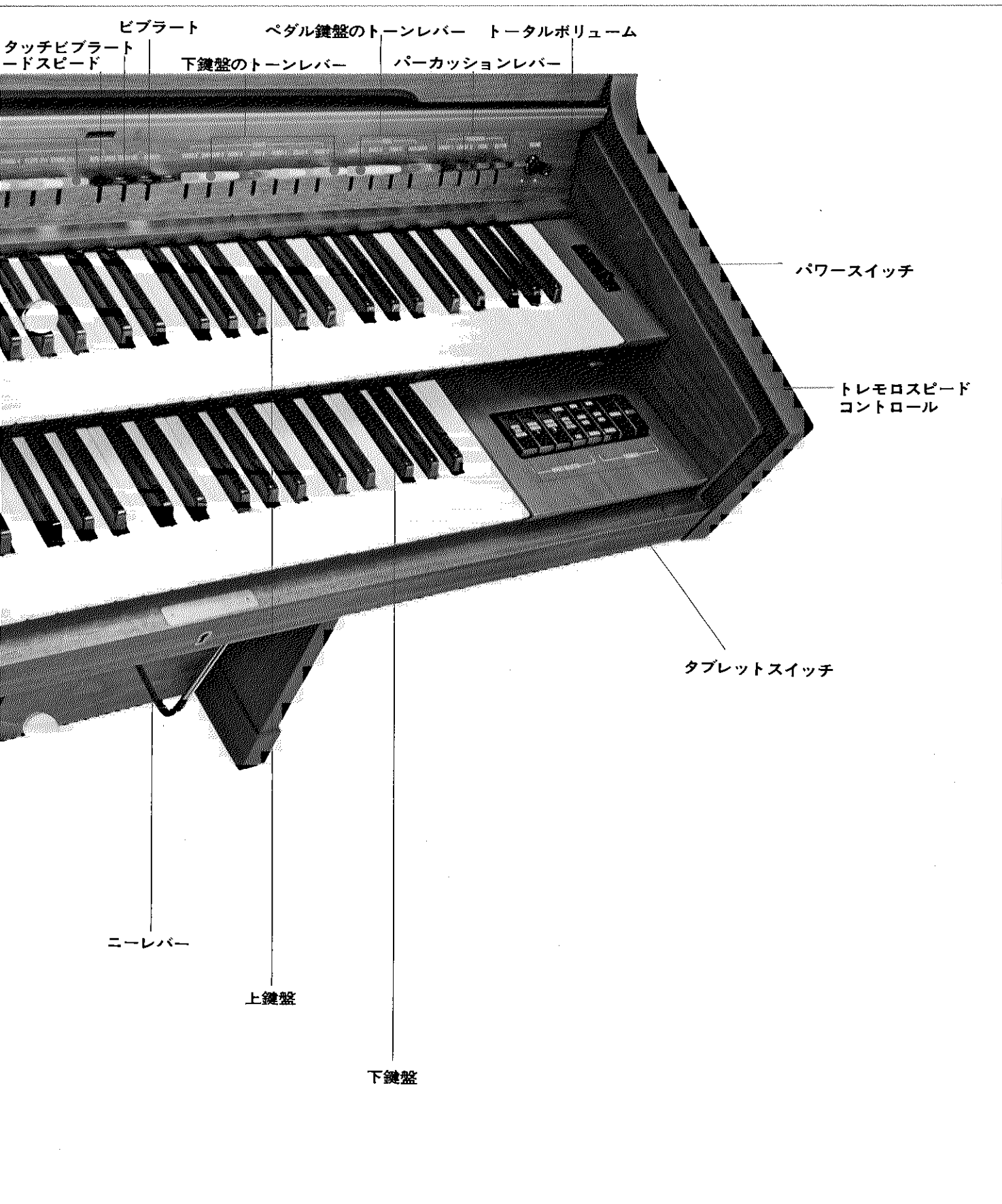
アッパーパーカッション
ブリリアンス

上鍵盤のトーンレバー

エクスプレッション
ペダル

ペダル鍵盤

パーカッションボタン



ビブラート

ペダル鍵盤のトーンレバー

トータルボリューム

タッチビブラート

下鍵盤のトーンレバー

パーカッションレバー

ードスピード

パワースイッチ

トレモロスピード
コントロール

タブレットスイッチ

ニーレバー

上鍵盤

下鍵盤

トーンレバー・エフェクトレバーについて

■上鍵盤のトーンレバー

フルート16' フルード等の音は、いっそう柔らかく澄んだ音になり、他の音色とのハーモニーが一段ときれいです。これは電気回路部品をせいたくに使用した新しい音色フィルターを完成させた結果です。フルート16'のトーンレバーを入れると1オクターブ下のフルートの音が加わります。低い音ですから厚みができますが、強すぎたり、また単独で使ったりすると基音が1オクターブ下がったようになってしまいます。その意味で使えば上鍵盤の音域が下にオクターブひろがったと考えてもいいわけです。このように音域をひろげることにもカブラーの使い方のひとつです。これはすべてのカブラーについていえます。

トロンボーン16' 金管楽器のトロンボーンに近い音で、多少割れたような厚みのある金属的な音になります。

バスーン16' 張りのある低音で、倍音をたくさん含んだ中においても特徴の強い音です。この音でのメロディなども変ったおもしろさを出せるでしょう。

フルート8' フルードは本来

開管の管楽器ですが、基音が強く倍音が少ししかありません。従って単純ですが、少し暗い感じがします。

クラリネット8' 丸味をおびて、しかも倍音がうまく配合された音です。他のトーンレバーとは少し違った感じの音で、落ち着いた感じのおとなしい音です。

ブラス8' 金管楽器の音という意味です。この音は高い倍音までたくさん含んであるので、より複雑な鋭い感じの音になります。明るい音です。

オーボエ8' ダブルリードの楽器で基音よりずっと強い倍音を持っているのが特徴です。従って演奏に味つけの効果があり、ストリング群などに加えると大変クリアな効果があらわれてきます。

ストリング8' 弦楽器の音はずっと高い倍音まで豊富にふくまれています。そのためすっきりした豊かな音色になります。このトーンレバーの音も、そうした弦楽器の特長をあらわしています。

フルート4' フルード音で、オクターブ上の音ができます。これを加えると音は生き生きしてきます。8'を弱くしてこの音を単独で

用いれば音域を上にもオクターブひろげる使い方ができます。

ストリング4' ストリングの音でオクターブ上の音が出ます。音色が違うだけで他の4フィートと同じ音域を持っています。

フルート2 $\frac{2}{3}$ ' フルードの音で、1オクターブと5度上の音ができます。これを加えると音の豊かさが一段と増し、多彩な表現が楽しめます。

ストリング2 $\frac{2}{3}$ ' 今までにない弦楽器の音色に2 $\frac{2}{3}$ 'のカブラー効果を与え、繊細でかつ16'レバーとの併用により、巾のある音になります。

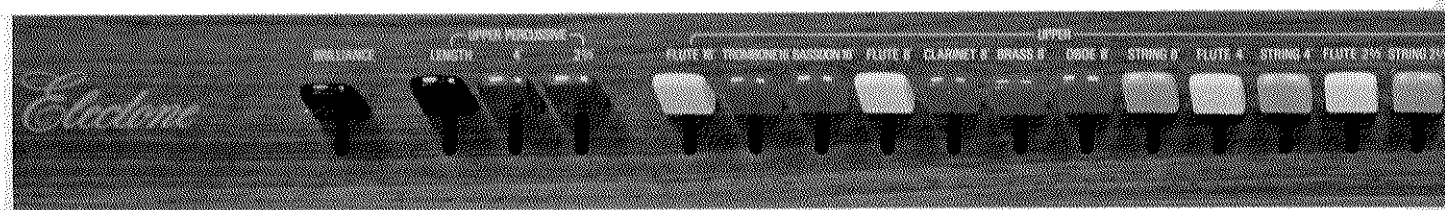
■下鍵盤のトーンレバー

ウッド8' 木管楽器の音です。フルートと同じような単純な音ですが、いくらか倍音が入って明るい感じになっています。

ディアパーソン8' 音量感があり、しかも丸味のあるフルートとクラリネットをミックスしたような音で、バッハのフーガなどの演奏には効果的です。

ホルン8' ホルンの音には特に強調された倍音はありません。しかし一定の比例で弱まりながらもずっと高い倍音まで含まれているという特徴があります。そのた

↓トーンレバー・エフェクトレバー



めクセのない豊かな音になります。

チェロ 8' ホルンに比べてやや倍音が強調され、やわらかく自然なチェロのような音色です。

ウッド 4' ウッドのオクターブ上の音です。特に低音部でメロディを弾くときなど、この音を加えると音ははっきりします。もちろん下鍵盤の音域をひろげるためにも使えます。

チェロ 4' チェロのオクターブ上の音ができます。

ウッド 2' ウッドの音で2オクターブ上の音が出ます。これに加えることにより音の豊かさが一段と増し、下鍵盤でのメロディー演奏の可能性が広がりました。

■ペダル鍵盤のトーンレバー

バス 16' 基音が強く、倍音が少ない音ですが、非常に低いバスの音域で使われるため、体で感じるような音圧を持っています。

バス 8' バスのオクターブ上の音です。これを加えると、ペダル鍵盤の音は音程が聴きとりやすくなり、ペダル鍵盤でメロディを演奏することもできます。

チューバ 8' バスにくらべて倍音が強調されています。

ベースギター バス8' よりさ

らに音程がはっきりしてきます。特にあらかじめベースギター特有のアタック効果が組込まれていまずので、他のベース音色と組み合わせることにより、いっそうの表現力が加わります。

■エフェクトレバーについて

エレクトーンの音にいろいろな効果、たとえば一定の周期で音量を変化させ、マンドリンに似た音を生んだり、曲想に応じて音色を暗い感じにしたり明るい感じにしたり……など、音色に潤いと変化を与え、音に一層の拡がりを持たせ、演奏の巾を大きく拡げる効果を持つのがエフェクトレバーです。ブリリアンス これは音色全体をきらびやかな感じにしたりやわらかな感じにする時に使います。

レバーを入れない時にはやわらかい感じが加わり、レバーを入れたときらびやかな明るい感じが加わります。

アッパーパーカッシブ 上鍵盤のトーンレバーのうち、2 $\frac{3}{4}$ '、4'およびLENGTHのレバーでこの効果が得られます。2 $\frac{3}{4}$ '、4'のレバーは普通のトーンレバーと同様にお使いいただき、LENGTHレバーでは余韻の長さをかえることがで

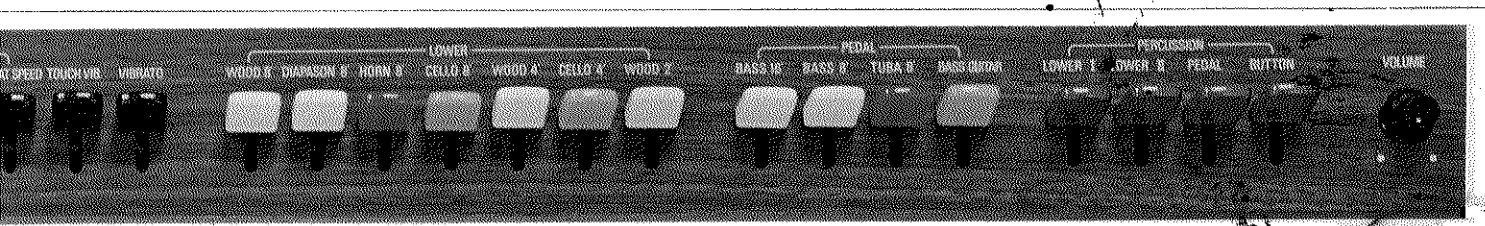
きます。歯切れのよい演奏をしたときにお使いいただくわけですが、鍵盤を押してそのままにしていないと、余韻はつきません。

なお、アッパーサステイン効果を掛けた場合は4'のパーカッシブトーンは音のにごりを消すために音がでないようにしてあります。リピートスピード 上鍵盤の音が歯切れのよい断続音になります。

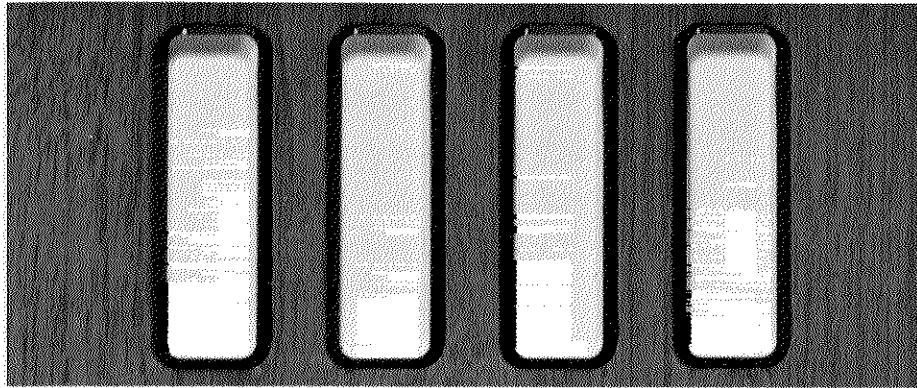
レバーの位置により、繰り返しの速さが調節できます。

タッチビブラート 鍵盤楽器では得られなかった“鍵盤タッチによる豊かな表現の変化、すなわち生きたビブラート”をエレクトーンで得られるのがタッチビブラートです。鍵盤を左右に振動させることにより、ゆるやかな、またこまやかなビブラートが自由自在に表現できるので、演奏途中にこのようなフィンガーテクニックによって曲想豊かにビブラートを変化させることができます。

ビブラート これは震える音の効果です。このレバーを入れると音がかすかに揺れて、きわめてデリケートな雰囲気をつくります。レバーの深さの程度によっていろいろな感じを作り出します。



パーカッション・コントロールレバーほか



↑パーカッションボタン

■パーカッションについて

パーカッションは、数々のエフェクトの中でも、楽しさを味わっていただくためには最も適した効果といえましょう。

このパーカッションには2通りの使い方があります。その1つは打楽器の効果、つまりマラカスとかクラベス、あるいはスネアドラムのワイヤーブラシショットの音というように、打楽器をもう1台備えると同様の効果を発揮します。たとえばジャズやラテンを演奏するときなど、打楽器のバックが素晴らしい雰囲気盛りあげます。

もう1つは雨、風など楽器とは違った楽しい擬音効果、特殊効果として使うことも可能です。

このように、パーカッションとは、いわばエレクトーンの演奏を巧みに演出する腕のいい演出家なのです。

正面パネルの右の4つの緑色レ

バーがパーカッションレバーです。

この4つの組み合わせにより、リズムが非常に明確になりますので、特にマーチなどのようなアップテンポの曲では楽しさが倍加します。またリズム感を一層伸ばすには格好の補佐役となるでしょう。

LOWER I (ローワー I) ローワー I、ローワー II、およびペダルのパーカッションは、下鍵盤とペダル鍵盤に連動しています。ローワー I は、下鍵盤を押すと下鍵盤の音色と同時に「チツ」という短い減衰音がダブります。このレバーの操作によりマラカス、あるいはスネアドラムのワイヤーブラシショットを伴奏させると同じ歯切れのよい効果を得ることができます。

LOWER II (ローワー II) この効果も下鍵盤と連動になっています。下鍵盤を弾きますと、下鍵盤の音色と同時に「シャーン」という長い減衰音が得られます。ロワ

ー II により、シンバルあるいはスネアドラムのワイヤーブラシロールなどの効果が楽しめます。

PEDAL (ペダル) ペダル鍵盤を弾くことにより、ペダルの音色と同時に「チャチャ」という音が重なりますので、一層歯切れのよい音色となります。これにより体がウキウキするような軽快なリズムをはじき出すことができます。

BUTTON (ボタン) このパーカッションは下鍵盤左拍子木の4組のパーカッションボタンの操作で4種の効果音を楽しめるものです。パーカッションボタンの左側より、コンガ、ボンゴ、クラベスとシャーといった感じの音（たとえばスネアショットまたはロールの感じ）になっています。

このように演奏者の感覚しだいで、音の世界を無限に広げていくのがパーカッションというわけなのです。

■コントロールレバー(ほか)

リバーブ 一種の残響効果で、大ホールで音を出したような自然な余韻をつくります。このリバーブの操作により、音響効果のよい室内で聴くような残響を持つようになります。

ペダルサステイン ペダル鍵盤のサステインは、上鍵盤左拍子木のペダルサステインレバーを調整することにより、サステインをかけた切り切ったり、また減衰時間を選ぶことができます。サステインはペダル鍵盤の全部のトーンレバーにかかります。

アッパーサステイン エレクトーンでは普通キーを押した瞬間に音が出て、離れた瞬間にブツリと

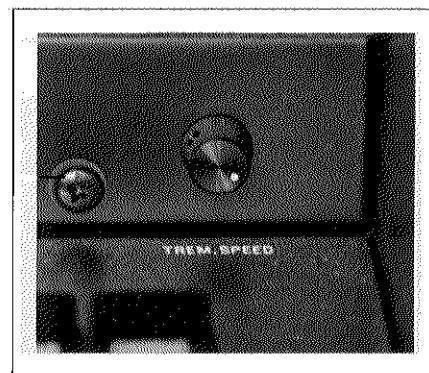
切れてしまいます。ところが、実際の楽器、特にピアノではダンパーペダルを踏んでいれば、キーを離れた後も音が自然に減衰していきます。こうした効果を出すのがアッパーサステインです。

マニュアルバランス これは上鍵盤と下鍵盤の音のバランスをとるためのもので、ふつうは中央位置にしておきます。上鍵盤がメロディをとり、下鍵盤が伴奏の役を果たしている場合やメロディをもっと引き立たせたいと思う時はこれを右にまわしてバランスをとります。逆に下鍵盤の音が弱すぎたら左にまわします。

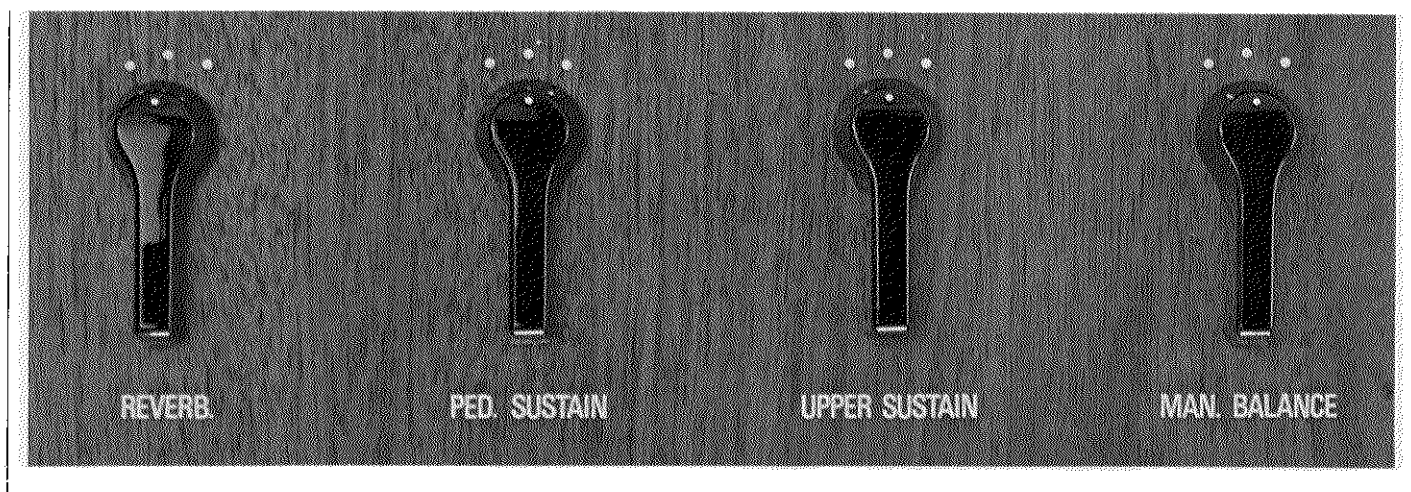
エフェクトニーレバー ニーレバーは、アッパー16', 8', 4'サス

テイン効果を演奏中に入れ切りすることと、シンキングビブラート I, IIの効果をつけるために使われます。

トレモロスピード トレモロ効果を掛けた時に得られる、音が回転するような感じを、速くしたりゆっくりしたり自由にコントロールできるものです(写真参照)。



↓コントロールレバー



タブレットスイッチ・カプラーについて

■タブレットスイッチ

アップー16'8'4'サステインタブレット 上鍵盤左拍子木のアップーサステインレバー、および下鍵盤右拍子木のアップー16'8'4'サステインタブレットを入れて、ニーレバーを操作すると、上鍵盤の16'8'、4'のトーンレバーの音色のみにサステインがかかります。サステインの長さ(減衰時間)は、このアップーサステインレバーの調整で長くも短くもできます。右で最も長く、左で最も短くなります。サステインが必要でない時には、サステインタブレットがONでもエフェクトニーレバーコントロールを作動しなければサステインはかかりません。

またサステインをかけようとしてエフェクトニーレバーコントロールを右に押してもアップー16'8'4'サステインタブレットがONの状態ではアップーサステインレバーを任意の長さにセットしなければやはりサステインはかかりません。

シンギングビブラート I, II タブレット 下鍵盤右拍子木にある6組のタブレットのうち、シンギングビブラート I, II の各々で選択組み合わせてください。

ビブラート I のタブレットをONにし、エフェクトニーレバーコントロールを操作しますと、ビブラートの速さと深さ(かかり具合)が同時に変化します。つまり、ニーレバーの操作(ニーレバーを右にひざで押す度合)が浅い時はビブラートの速さはゆっくりし(4Hz)、深さ(かかり具合)も浅いわけですが、操作を深くするにしたがつて速さは速く(8Hz)、深さ(かかり具合)も深くなります。

この場合、コントロールパネルのビブラート、タッチビブラートともきかなくなります。

ビブラート II のタブレットをONにしますと、ニーレバーを全々操作しない時でも、ある一定の速さでビブラートが浅くかかります。ニーレバーを段々操作していくと、

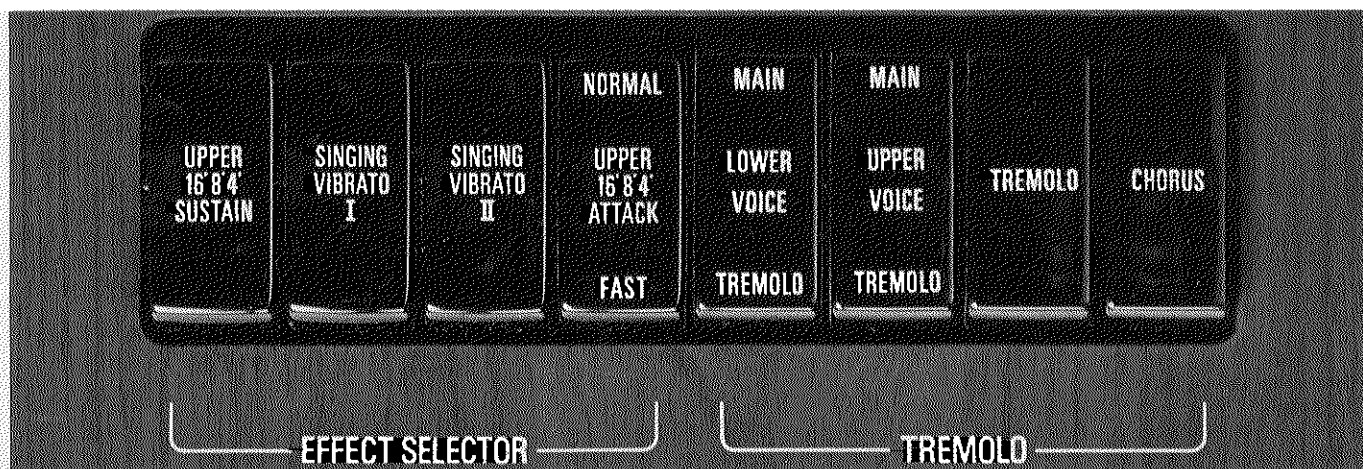
それに従い速さは一定で深さ(かかり具合)のみが変化できます。

ノーマルビブラート、タッチビブラートは同時に使うことができますが、シンギングビブラートのタブレットを入れるとノーマルビブラート、タッチビブラートはかかりません。

アップー16'8'4'アタック 鍵盤右拍子木にあるアタックタブレット ONの状態にしますと上鍵盤の16'8'4'の音色にアタックがかかり歯切れがよくなります。

これまで、とかくサステインのかかる音色の欠点であった音の立ち上がり下がりの甘さが、これをつけることにより解消され、音の立ち上がり下がりに鋭さを加えます。アップーボイスタブレット・ローボイスタブレット アップーボイスタブレットをONにした場合は、上鍵盤にトレモロ効果がまたローボイスタブレットをONにした場合は、下鍵盤にトレモロ効果がかかります。もちろんアッ

↓タブレットスイッチ



パー、ローボイスタブレットとも同時にONにした場合は、上下鍵盤にトレモロ効果が発揮できます。メロディパートと伴奏パートのそれぞれに、トレモロ効果を分離してかけることができますので、一層効果的な演奏になります。

トレモロタブレット ボイスタブレットをトレモロの状態にしていて、このタブレットを入れますと、小型ナチュラル・サウンド・スピーカーが回転し豊かなトレモロ効果がかかった演奏が楽しめます。この効果でのスピードは、ほぼ6.8Hzです。

コーラスタブレット ボイスタ
↓エレクトーン背面

タブレットをトレモロの状態にしてこのタブレットを入れますと、小型ナチュラル・サウンド・スピーカーがゆっくりと回転して荘厳なコーラス効果のかかった演奏となります。とくにコーラスタブレットは宗教曲とかスローな演奏に効果的です。この効果での回転スピードは1Hzです。

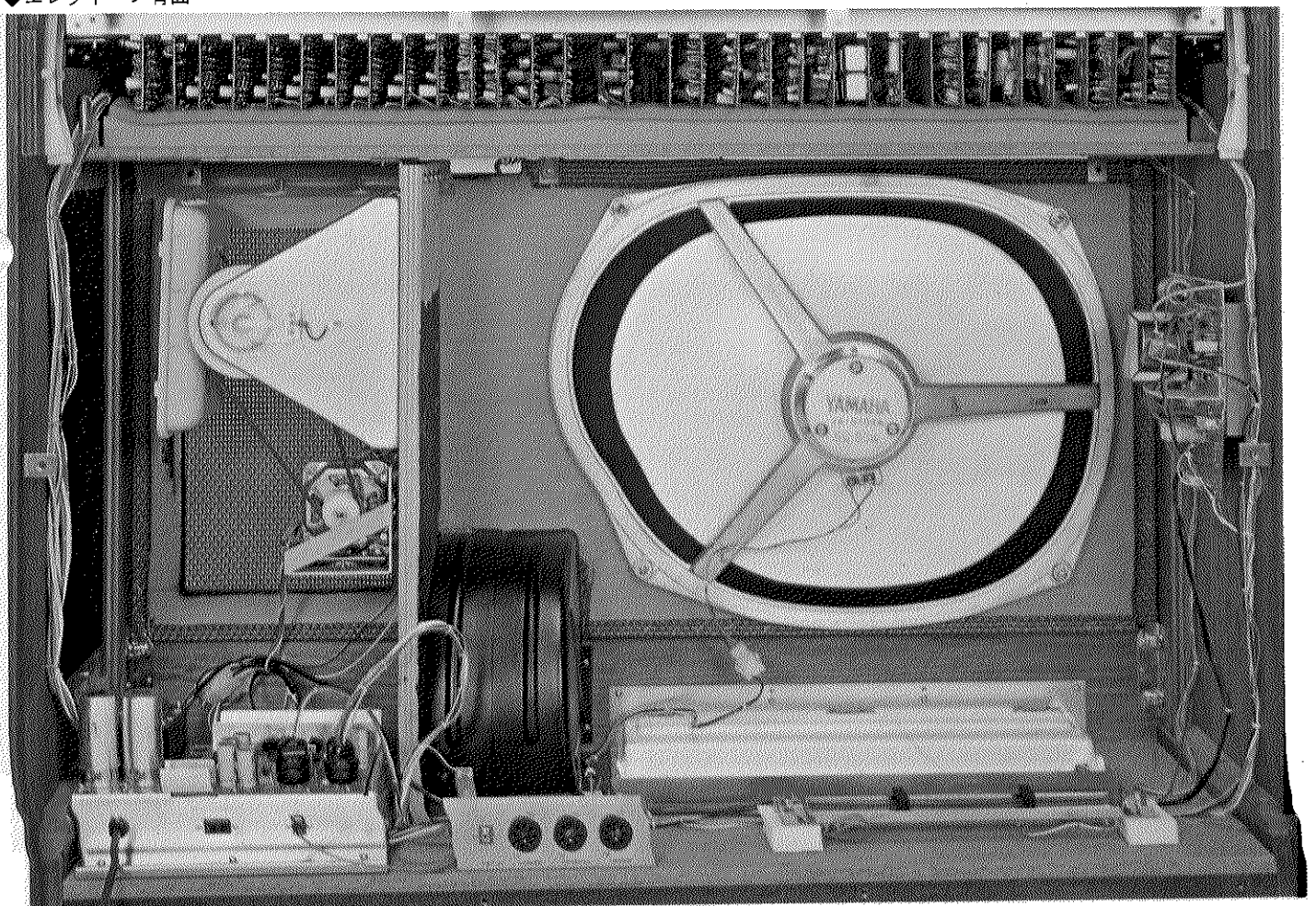
(注)トレモロタブレットとコーラスタブレットが両方入った状態では、トレモロタブレットの効果が優先します。

■カプラーについて

トーンレバーには4'、8'などの記号がついていますが、この数字

はパイプオルガンのパイプの長さを意味し、異なった数字の組み合わせをすると、1つのキーを押しただけでいくつものキーを押した場合と同じ結果になります。

たとえばフルート8'をいっぱいにおろし、次にフルート16'を入れてみます。そうして演奏した場合1つのキーを押しただけで、フルート8'の音と、その1オクターブ下のフルート16'の音の二重音が出ているというわけです。しかもレバーをどの程度下げるかによって自由に音の強さを加減できますから、いくつもの音色が作りだせます。



オートリズムのすばらしい効果

■オートリズムの特徴

1. エレクトーンに組み込まれていますからセッティングの面倒がなく、場所をとることもありません。エレクトーン機能の1つとしてお楽しみいただけます。
2. 数多くのリズムが表現できるように、リズムパターンの作り方やまた各種機能が研究されています。
3. クリアな音質、多彩な音色があなたの演奏にいっそう華やかさと楽しさを添えます。
4. お好みのリズムをワンタッチで自由に選ぶことができます。さ

らに2つ以上を組み合わせ、新しいリズムをご自分で作り出す楽しみもあります。

5. 鍵盤を弾くと同時にリズムがスタートする、世界で初めてのシンクロスタートや曲の途中で自由自在にリズムをストップ、スタートさせることのできるフットスイッチなど、弾く人の側に立ったこまかな配慮がなされています。

6. バランス調整つまみでご自分に合った音色、音質、バランスが得られると同時に、曲によってバランスを変えて楽しめます。

■オートリズム各部の使い方

オートリズムの音はエレクトーン本体のスピーカーから出るようになっていますので、まずエレクトーンの電源スイッチを入れてください。

■リズムセクター

14種のリズムがあります。お好きなリズムのボタンを押してください。2つ以上のリズムを同時に鳴らす場合は、ボタンを必要な数(3個くらいが限度)だけ押してください。この場合、指を同時に離すようにします。

リズムのチェンジは、次のリズムのボタンを押すことで前のリズムは自動的にキャンセルされます。

各リズム間のテンポ(4分音符を基準)は一致していますから、曲の途中から違ったリズムで演奏することも、より曲の表現を多彩にします。

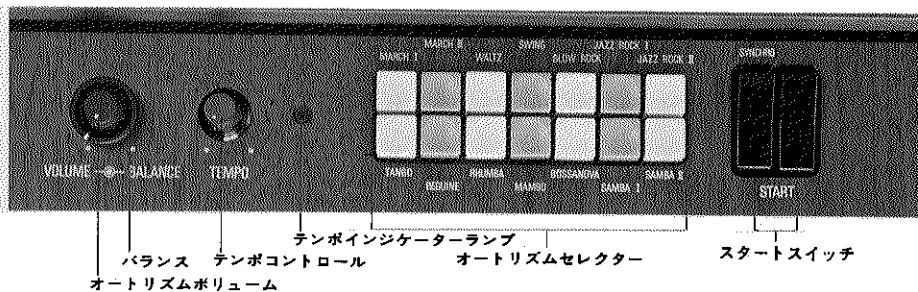
■スタートスイッチ

あらかじめ、リズムを2小節か4小節鳴らしてから曲をスタートする場合には、スタートスイッチを使います。スイッチをONにすると、リズムが第1拍目からスタートします。

スイッチをOFFにすれば、リズムは止まります。

■シンクロスタートスイッチ

曲とリズムを同時にスタートさせたい場合は、シンクロスタートスイッチを使います。スイッチをONにしておくと、下鍵盤または



ペダル鍵盤と連動して、鍵盤を軽くタッチしただけで同時にリズムが第1拍目からスタートします。

この場合、上鍵盤は連動していませんから、上鍵盤だけでイントロダクション(前奏)を弾いておいて、曲の頭からリズムと同時にスタートするということができます。

ストップは、シンクロスタートスイッチをOFFにしてください。

なお、スタートスイッチとシンクロスタートスイッチはどちらかに限定してお使いください。スタートスイッチで始めた時は同じスタートスイッチで止め、シンクロスタートスイッチで始めた時はそのスイッチで止めるような習慣をつけてください。ただしフットスイッチをお使いになる場合はこの限りではありません。

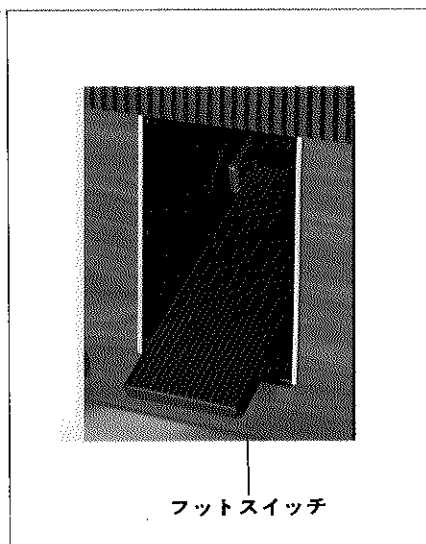
■フットスイッチ

スタートスイッチ又はシンクロスタートスイッチで曲を弾き始め曲の途中で短いブレイク(リズムをいったん止めること)をする場合、または最後にリズムと曲を同時にストップさせたい場合にフットスイッチを使います。

フットスイッチは、エクスプレッションペダルの左側の奥についている長方形のゴムを右足のつま先で左側に押せばかかります。再びスタートするときは、もう一度押し直します。

ただし、曲の最後にフットスイッチを使ってリズムを止めた場合

は、スタートの時に使ったスイッチはONの状態にある筈ですから必ず一旦OFFの状態に戻しておくように心掛けてください。



■テンポコントロール

オートリズムのテンポを自由にコントロールすることができます。シンクロスタートスイッチを使う場合は、スイッチをONにしておくとも音を出さない状態で、テンポインジケータランプによりテンポを目で確認することができます。原則として4分音符の単位で点滅しますが、スタートすると各小節の頭で点滅するように変わってきます。

■オートリズムボリューム

オートリズムの音量と他のマニュアル鍵盤のバランスをとります。適度の音量を工夫してみてください。一度オートリズムボリュームでセットされた音量は、エクスプレッションペダルによってマニュアル鍵盤と同じように変化します。

■バランス調整

バランス調整は、バスドラムなどの低い音とシンバルなどの高い音との音量のバランスを、使う人の好みに調整していただくためと同じリズムでも曲によってそれぞれ違った感じで使っていただくためにあります。

ツマミを右にまわすとバスドラムなどの低い音が弱くなり、シンバル系統の高い音が強くなります。左にまわすとバスドラム、ボンゴコンガなどの太鼓の音が強くなりシンバル系統の音量が下がります。一般的には、ツマミを右にまわした方が軽快な感じになります。

個々のリズムのバランスのとり方については、後述の「演奏はこうして」の項をご参照ください。

■演奏はこうして

マーチI 2拍子のリズムです。マーチ・ポルカにはもちろん、4拍子の曲でも「聖者の行進」などのオルタネーティング・ベースを使う場合には最適です。2拍子のスネアドラムの音が気になるようでしたら、バランスつまみを右にまわせば軽快な感じになります。

マーチII 文字どおりのマーチです。「大脱走のマーチ」「クワイ河マーチ」などに合わせてみましょう。

ワルツ 3/4拍子です。左手の伴奏と同じパターンになりますからリズムと伴奏とずれないように注意しましょう。テンポを速く、軽い感じで弾くときは、バランスを右にまわして好みのバランスを作ってください。

スイング 4/4拍子系統の曲にはテンポの速い遅いを問わず使うことができます。これにマーチを混ぜますと、バスドラムが4分音符で1拍ずつ鳴りますから、曲の途中から盛り上げるために使うと効果ができます。

スローロック いわゆる「ロック・バラード」といわれるリズムです。イタリアのカンツォーネとか、日本のポピュラーソングなどにこのリズムが多く使われています。ワルツのリズムを混ぜるとアクセントができて、いっそう華やかになります。

ジャズロックI ジャズロックの基本パターンです。バスドラムの音量が邪魔になるようでしたら、バランス調節をしてください。スイングやマーチを混ぜると、ジャズロックのバリエーションとして効果的に利用できます。またルンバ、ボサノバ、サンバを混ぜるとそれぞれチャチャ、マンボに似たリズムができ、ワルツを混ぜるとアメリカッチに似たリズムができ「蜜の味」などの曲が生きてきます。ただし、ワルツを混ぜた場合はテンポが少し速くなりますから注意してください。

ジャズロックII ロックのバリエーションで、俗に「シェイク」といわれるリズムパターンです。リズム・アンド・ブルースとか、和製ポップスなど比較的ゆったりした感じで使われる場合が多いようです。

タンゴ コンチネンタルタンゴで多く使われるリズムパターンです。

ビギン おなじみのビギンのリズムです。バランスの調整でシンバルのリズムパターンをすこしおさえ気味に使ってみるのもいいと思います。

ルンバ ラテンリズムでは一番ポピュラーなルンバのリズムです。ラテンの曲ならひととおり何でも合いますが、曲の感じによってそれぞれサンバ・ボサノバ・ジャズロックなどを組合わせても効果的です。

マンボ 表示はマンボとなっていますが、チャチャとしても大いに使ってください。(現実にはマンボとチャチャはリズムパターンのうえでは、ほとんど区別されていません。)もちろん、他のラテンリズム・ジャズロックなどと組合わせて、それぞれのリズムを使い分けましょう。

ボサノバ ボサノバの場合もバランスの調節で、ボサロック的な感じと、タイコの音を絞ったクールな感じとを使い分けてみましょう。また、サンバやジャズロックなどラテン系のリズムを混ぜた感じも試してみてください。

サンバI サンバはボサノバのものになったリズムです。ですからボサノバの曲をスローのサンバで弾いてみるとまた違ったフィーリングになります。本来のサンバのリズムは速いテンポで演奏する場面が多いので、テンポをじっくり確認して、楽しくおおらかに弾きましょう。

サンバII サンバのバリエーションで、すこしラテン色の濃い感じになります。のり方はすこし難しいかも知れませんが、一度のったら大変に楽しいリズムです。すこしテンポを落として、チャチャの変形として使ってもおもしろい味ができます。

D-3Rの仕様と音域表

■鍵盤

上鍵盤(UM)49鍵 c-c₄(4オクターブ)

下鍵盤(LM)49鍵 C-c₃(4オクターブ)

ペダル鍵盤(PEDAL)13鍵C₁-C₁(1オクターブ)

■トーンレバー

上鍵盤

フルート2 $\frac{3}{4}$ ′, フルート4′, フルート8′, フルート16′, ストリング2 $\frac{3}{4}$ ′, ストリング4′, ストリング8′, クラリネット8′, フラス8′, オーボエ8′, トロンボーン16′, バスーン16′, パーカッシブトーン2 $\frac{3}{4}$ ′, パーカッシブトーン4′

下鍵盤

ウッド2′, ウッド4′, ウッド8′, チェロ4′, チェロ8′, ディアパーソン8′, ホルン8′

ペダル鍵盤

バス8′, バス16′, チューバ8′, ベースギター

■エフェクトレバー

リビートスピード, ビブラート, タッチビブラート, ベースギター, パーカッシブレングス, パー

カッション(ロー-I, ロー-II, ペダル, ボタン)プリアンス

■コントロールレバーおよびつまみ

リバーブ, ペダルサステイン, アッパーサステイン, マニュアルバランス, トータルボリューム, トレモロスピードコントロール

■その他

パワースイッチ, エクスプレッションペダル, ニーレバー, ヘッドホーンジャック, エキスターナルインプットジャック, トーンキャビネットコネクター, ドアスイッチ

■タブレット

トレモロ, コーラス, アッパーボイス, ローボイス, アッパー16′8′4′サステイン, アッパー16′8′4′アタック, シンキングビブラートI, シンキングビブラートII

■トランジスタ 375個

■ダイオード 152個

■IC 10個

■メインアンプ 60W 15W

■消費電力 150W

■スピーカー ナチュラルサウンドスピーカー

JA5101A JA1701A

■寸法 間口114.2cm, 奥行70.0cm, 高さ(罐面台を立てた時)94.3cm(113.0cm), 重量100kg

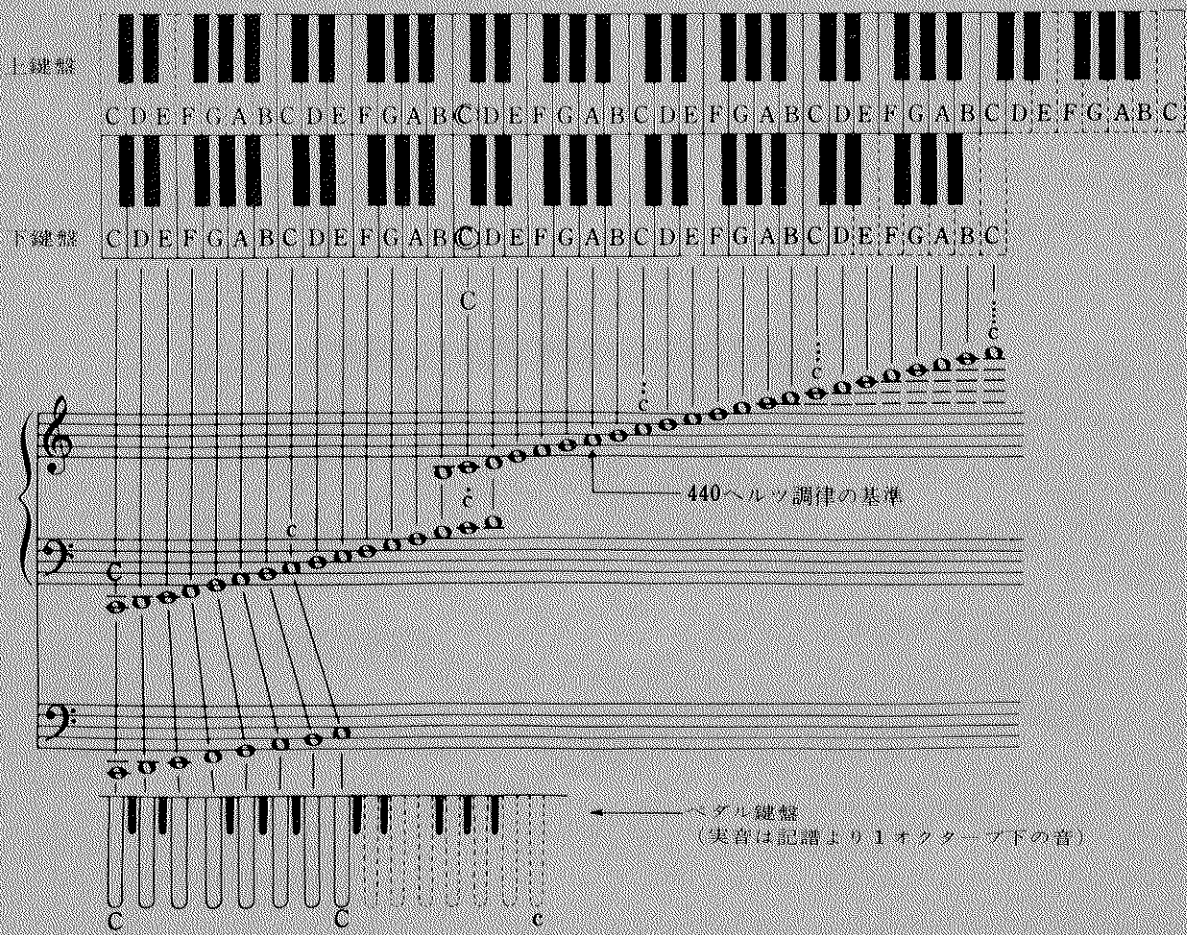
■蓋 スライド蓋

■外装 アメリカンウォルナット

■オートリズム

リズムセクター(マーチI, マーチII, ワルツ, スイング, スローロック, ジャズロックI, ジャズロックII, タンゴ, ビギン, ルンバ, マンボ, ポサノバ, サンバI, サンバII)

その他, スタートスイッチ, シンクロスタートスイッチ, フットスイッチ, テンポコントロール, テンポインジケータランプ, オートリズムボリューム, バランス



D-3Rの各端子

■エキスターナルジャック

●EXT-IN(外部入力)端子

AUX端子の横にあり、エレクトーンカセットデッキを接続する入出力兼用端子です。その他、テープレコーダー、リズムボックスなどの再生にも使用できます。

[EXT-IN端子の電気的特性]

入力インピーダンス…30K Ω

入力電圧……………200mV

●EXP-IN(EXP連動入力)端子

リズムボックス、シンセサイザーなどを接続しますと、エレクトーンのEXPペダルで音量変化が得られながら演奏できます。

入力インピーダンス……………100K Ω

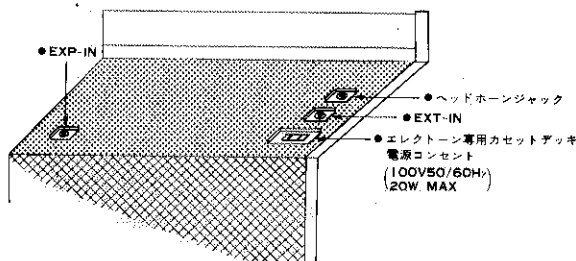
入力電圧(最大)……………775mV(OdBm)

■棚板のACコンセントはエレクト

ーン用カセットデッキ専用です。棚板右下に付加されているACコンセントにはアイロン、電気コタツ等の電気製品を接続しないでください。

もし誤って差し込まれた場合にはエレクトーン内部のヒューズが切れ、エレクトーンの故障の原因となります。

またエレクトーンのパワースイッチを切るとコンセントの電源も連動して切れます。



■トーンキャビネット端子

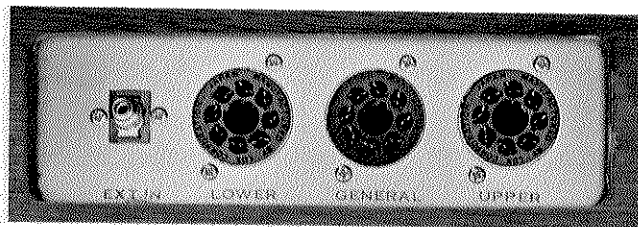
エレクトーンの裏側には下図のように3つのトーンキャビネット用端子とエキスターナルジャックがひとつついています。

トーンキャビネット端子3個は左から各々LOWER(下鍵盤)GENERAL(上,下,ペダル鍵盤総合)UPPER(上鍵盤)となっており、トーンキャビネット2台を用いて演奏する場合、左,右別々のトーンキャビネットから上,下鍵盤を分離して出すことができます。

なおペダル鍵盤やパーカッションは、左右両方のトーンキャビネットからバランスして音が出ます。

トーンキャビネット1本の場合はGENERAL端子を用います。又録音等の場合もGENERAL端子を用いてください。

トーンキャビネット端子



●トーンキャビネット出力端子の電気的特性

○出力インピーダンス500 Ω

※最大出力電圧: 2V

D-3Rの調律法

■エレクトーンの調整法

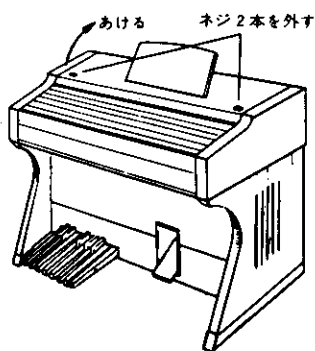
リピートスピードの速さ、ピブラートの速さなどあらかじめ標準状態に調整してありますが、お弾きになる方の好みに合わせて調整いただけるようになっています。

また他の楽器とピッチを合わせる必要が生じた場合など、エレクトーン技術者でなくても必要に応じて簡単に調律できるよう配慮してあります。

トランジスタ回路になっていませから電圧が低く、感電の心配はまったくありません。

■エレクトーンの開け方

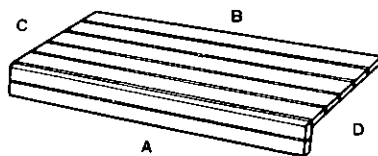
調律および調整箇所は内部にあります。ドライバーで図示の通り天屋根部分の⊕ネジ2本をはずすだけで心臓部が現われます。



1: 天屋根のネジ2本をはずして開けます。

2: スライド蓋を引き出し、外装にキズをつけないように静かに取りはずしてください。

3: スライド蓋の持ち方は、A B点を持ち、C D点は持たないでください。



■各部調整方法

各部の調整には、必要以外のところに金属で触れないでください。場合により回路部分が損傷することがあります。

■調律の仕方

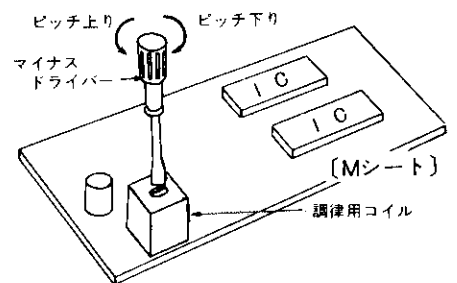
エレクトーンの調律は殆んど必要ありませんが全体の音程を移動させたい時のみ、図のようにMシート内(プリント基板格納図参照)のコイルをマイナスドライバー(小型)で調整できます。

調律の際聞きわけやすい音色(例えば上鍵盤フルート8')で、中央のA₃音(440Hz)を押し、音叉などと

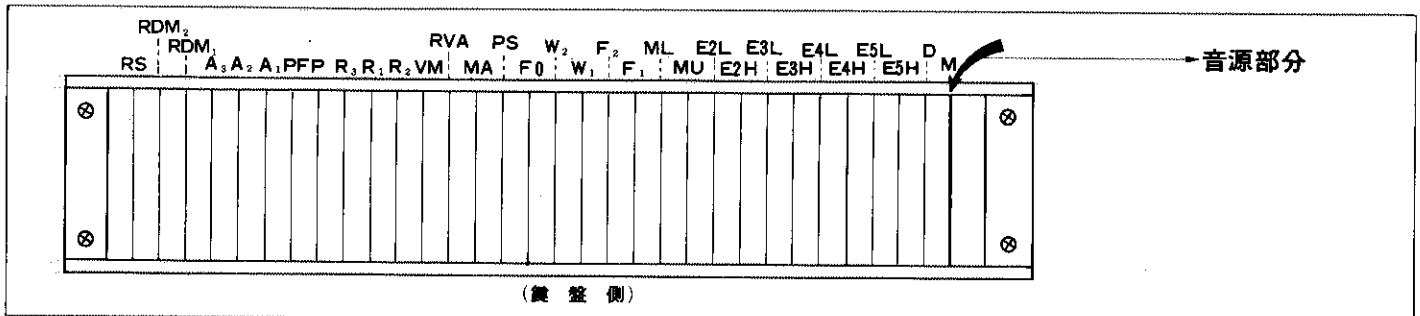
比較しながらコイルを回してください。コイルは、左回転でピッチが上がり、右回転で下ります。

通常、半回転以内で25Hz程度変化しますので、回しすぎないように注意してください。

一つ一つの音が狂っている場合とか、全体が極端に狂っているときは、故障ですのでネジを回しても治りませんので、手を触れず、お求めの楽器店にご連絡ください。

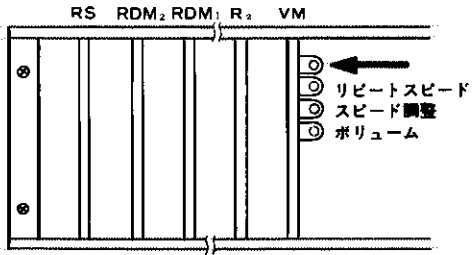


■プリント基板格納図



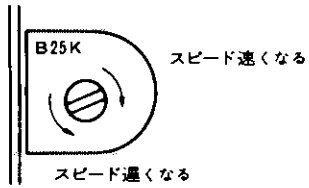
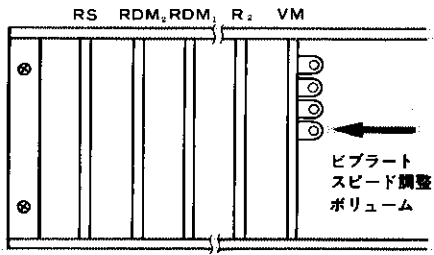
■リピートスピード調整

プリント基板格納箱中ビブラート、リピートスピードシート(VM)の中に調整用のボリュームがあります。調整方法は下図の通りです。



■ビブラートスピード調整

リピートスピードと同じプリント基板にあり、右に回転すると速くなり、左に回転すると遅くなります。



D-3Rのヒューズ交換

通常の場合、ヒューズの切れることはありませんが、内部の故障や電源の異状ショック、また長い間使用してヒューズが弱った場合などに切れることがあります。

万一切れた場合には、内部メインアンプ部分の手前側板にサービスヒューズが3本用意してありますのでお取り換えいただくことができます。裏蓋を外しますと左側にアンプがあります。

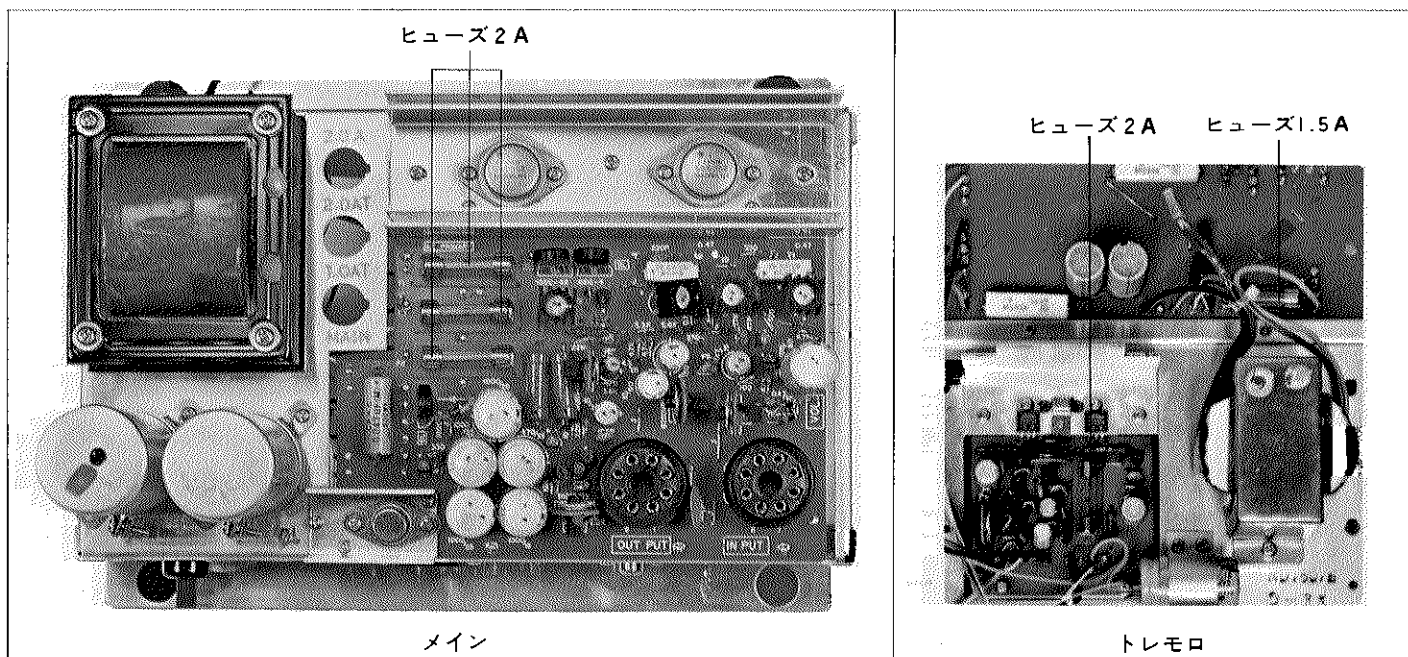
ヒューズを交換してもすぐ切れるようでしたら内部が故障していると考えられますので、アンプの内部には手を触れず、お求めの楽器店にご通知ください。エレクトーン技術者がただちに伺います。

2台のメインアンプには合計5本のヒューズが使われています。このうち4本は電流容量2.0Aのヒューズ、他は1.5Aのヒューズが1本です。

ヒューズの交換には必ず同じ電流容量のものを用いてください。ヒューズを使わず、針金や銅線などの代用は絶対にしないでください。

万一使用しますと内部を損傷しますから、くれぐれもご注意ください。

交換する時は必ず電源コンセントを抜いて、5本のうち、どのヒューズが切れたかを確認して交換してください。



故障でない現象

下記のような故障でない故障でサービスを依頼された場合には、保証期間中であっても実費料金をいただきます。

■スイッチを入れた瞬間ボンと音がする

メインアンプ内部に電気が流れた為で、エレクトーンが作動する証拠です。安心してお使い下さい。

■16・8・4・2%・2 それぞれのカプラ一によって発音位置が異なる

実用上支障のない範囲に精密調整してあります。一般に多くの音栓を持つオルガン、パイプオルガンやエレクトーンでは同時発音が難しく、同時発音しないのが実状です。

■ペダル鍵盤は同時に2音を押しても1音しか出ない

ペダルサステインをかけたときに、前の音と後の音がまざり、きかない音になります。

これをすんだきれいな音とするため、前の音が鍵盤を押した瞬間に消えるようなしくみになっております。

同時に2音押すと高音の方のみ(高音優先)音が出ます。

■音が割れる(共鳴するあるいはビビル)

エレクトーンの音は持続音ですから周囲の戸棚、窓ガラスその他

の器物に共鳴することが多くあります。

音量を小さくするかまたは共鳴物を取り除けば防止できます。

■時々雑音が入る(ガリッとカポツンという雑音)

原因は、家庭の電気冷蔵庫、洗濯機、電気コタツ、揚水ポンプ等の電気器具の電源入、切り時あるいは市街地でのネオンサイン故障電気ドリル等から誘導して起こる場合が多くあります。

電気製品が原因の場合は、原因と思われる機器からできるだけ遠くのコンセントをお使いください。気にならなければ別にエレクトーンには支障がありませんのでそのままお使いください。

またネオン、蛍光灯等の故障で発生している場合は修理すればすぐ直ります。

原因不明の場合およびご不審な点がございましたら、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。

■ペダル鍵盤ではピッチが高く、上鍵盤高音部では低く感じる。

特にピアノと比較した場合に感じるもので、音色を形作る倍音構成の違いから生じます。

すなわち、ピアノでは倍音構成が複雑で(特に高音、低音では)実音での調律ができず、倍音を聞

いて調律いたします。しかしエレクトーンでは、倍音構成が整数倍になっておりますので、逆にピアノの様には調律できず、実音で調律いたします。

このようにピアノとエレクトーンでは本質的な相違があります。

エレクトーンと同じ調律の行なわれているものにパイプオルガンやリードオルガンがあります。

■ラジオやテレビ等の電波が入るときがある

近くに大電力の放送局やアマチュアの無線局がある場合にこのようなことが起きます。

どうしても気になる場合には、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。

■電源を入れたまま振動やショックを与えると雑音が出る

これは内蔵のリバーブレーション装置に振動が伝わって起こるものです。このリバーブレーション装置は柔らかいスプリングを使用しておりますので、使用中は大きな振動やショックを与えない様にしてください。またエレクトーン設置にあたっては、ぐらつかないように設置してください。万一移動する必要が生じましたら、電源スイッチを切るか、リバーブペーを左に回して、リバーブがかからないようにしてから移動してく

ださい。

■トーンレバーによって、鍵盤位置による音量のバラツキがある

一般に電子楽器では、音色を変えろという本質的な要素を持つため、音色による各鍵盤の音量バラツキをなくすることが非常に難しいわけだ。エレクトーンではどの音色に変えても演奏上問題のない様に設計、調整されております。

しかし音の強さや音色はエレクトーンの設置場所の状態や聞く位置などによって、大きく異なることがありますので、どうしても気になるときはお求めの販売店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。

■上鍵盤2%、および下鍵盤のトーンレバーを入れて鍵盤を押すと、音が出る時にプツッ（ポツッ）という雑音が入る

これは、音の信号を直接鍵盤の下にあるスイッチで入れ切りするときに発生するもので、専門的にはクリックと呼んでおります。

このクリックは弾く曲により、たとえばスローテンポでムーディーな曲では悪者扱いされますが、パンチの効いた速い曲では非常に貴重で、なくてはならない存在となります。

本質的にこのクリックはなくすることができませんが、発音時の不快な雑音をヤマハが開発した特

殊スイッチにより、演奏上支障ない程度に防止しております。更に、これらのレバーの欠点を補う為にアップパー16'8'4'サステイン効果のレバーを合わせ持っております。

■エレクトーンに鼠が入って故障を起こした場合

エレクトーンの内蔵に鼠が入り束線その他を切ったりすることにより故障が発生した場合には保証期間中でもサービス料金を頂戴いたします。

鼠の入るおそれのあるところはお求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。実費にて防鼠処置をさせていただきます。

■ブリリアンス効果がフルート系（ウッド）の音できかない

ブリリアンスは抵抗とコンデンサの組合せによって、高域の倍音をカットする為に、フルート系の音（フルート16'8'4'2%、ウッド8'4'）のように倍音の少ない音や、ペダル鍵盤のように低音には効果がかかりません。ブリリアンス効果はストリングやオーボエ、バス等の倍音の多く含まれた音により強く作用いたします。

■ヘッドホーンで練習のとき、ブーンという電気の雑音（ハム）が気になる

本体のスピーカーで音を出して

いる時には、あまり気になりませんが、ヘッドホーンを使って練習する際、ブーンという電気のうなり雑音（ハム）が気になることがあります。このような時は、エレクトーンの電源プラグをコンセントへ逆に差し込んでみてください。雑音（ハム）が防止できます。

■トレモロまたはコーラスを作動した時に作動音が出る

内部に組み込まれている回転スピーカーが作動して出る回転音ですが、回転部分に精密仕上げを施し、演奏上には支障のない程度の大きさに抑えております。

■シンギングビブラート I・II タレットを入れるとビブラートレバーがきかなくなる

エフェクトセレクターは、エフェクトニーレバーコントロールの操作性のよさを従来のサステインだけでなく、ビブラートにも応用し、一層巾広い表現力を得ようとするものですが、エフェクトセレクターを入れた場合にはビブラートレバーが働かないようになっております。

しかしエフェクトセレクターを入れない場合にはビブラートレバーは働きます。

■上鍵盤フルート2 $\frac{3}{4}$ ' ストリング
2 $\frac{3}{4}$ 'のレバーで最高音部の音がく
り返す

最高音の音源がc₅までとなっ
ていますので、2 $\frac{3}{4}$ 'のレバーではf \sharp
以上の音がくり返しとなります

■サステイクタブレットを入れる
と、パーカッシブトーンがき
かなくなる

パーカッシブトーンは歯切れの
良い音、マニュアルサステイクは
余韻の残る柔らかい音と性格を異に
しています。従ってこの2つの効
果を同時に入れた場合はサステイ
ク効果が優先され、パーカッシブ
4'はきかなくなります。但し2 $\frac{3}{4}$ '
のパーカッシブトーンはそのまま
得られます。

■ヘッドホーンを使うとトレモロ
効果がかからない

トレモロ効果は、スピーカーを
回転させて“音をふりまき”独特の
雰囲気を作り出してくれるわけだ
ですが、ヘッドホーンを使った場
合はスピーカーへの信号(楽音)が遮
断されてしまう為に、トレモロ効
果のない音になります。

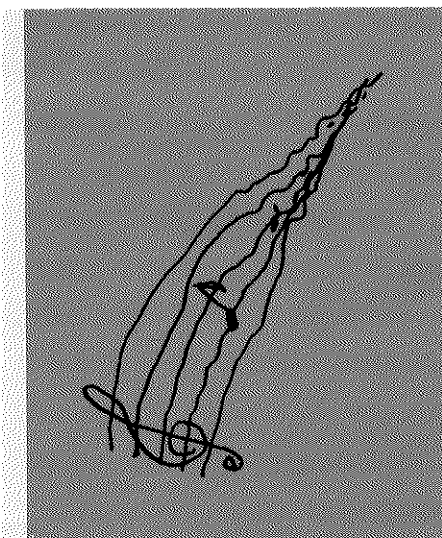
■リズムスタートスイッチ(シン
クロスタート)をONにしてもし
リズムが働かない

フットスイッチOFFで曲を終
った場合は必ず、曲の弾き始めに
使った“スタートスイッチ”また
は“シンクロスタートスイッチ”を
一旦OFFに戻してから次の曲に
移るようにしてください。

スイッチOFFで曲を終った場
合はリズム“スタート”“シンクロ
スタート”スイッチが最初スター
トしたときそのままONになっ
ても働きません。

■トレモロタブレット(トレモロ
コーラス)を入れてもトレモロ効
果がからない

トレモロ・コーラスのタブレッ
トを入れただけでは、トレモロス
ピーカーから音が出てこない為、
トレモロ効果はかかりません。必
ずボイスタブレットを一緒に入れ
てご使用ください。



■ビブラートをかけなくても、バ
ス8'の音色で弾くと、1音でうな
りを生ずる。

バス8'の音色は、1オクターブ
の各音程に長3度の音を一定の割
合で混ぜ合わせ、独特の豊かで美
しく力強いハーモニーが得られる
ように作られています。

その為、1音1音ではゆるい“う
なり”を生じますが、曲を弾いた
時には美しいハーモニーが生まれま
す。特にアップテンポの曲やスタ
ックカート奏法では抜群の威力を発
揮します。スローテンポの曲やレ
ガートな奏法で弾く場合は、バス
16'の音色を中心にしたレジストレ
ーションの方がよいでしょう。

保存法

一般的に他の楽器、たとえばピアノとかオルガンと同じ取り扱いをしていただければ問題はありませんが、特に電気部品を使用していますから次の点にご注意ください。

1：オールドランジスタ使用のため放熱はありませんが、使用後は電源スイッチを切り忘れないようにしてください。

2：日光の直射する所に置きますと色があせたり、木材の接着部分のはがれる恐れがありますからなるべく避けてください。

3：その他、湿気の多い所、暖房装置の近くは避けてください。

4：鍵盤蓋の開閉は、そのまま蓋の取手に手を添えて中に出し入れしてください。蓋を上を持ち上げ

たり、蓋の上に重いものをのせないでください。

5：このエレクトーン外装に使用している塗料は、ビニールと化学反応を起こし、塗装面を傷つけることがありますので、ビニール製カバーなどはご使用にならないでください。

6：棚板右下にあります電源コンセントにはカセットデッキ以外の電気製品のご使用はなさらないで下さい。

7：鍵盤のお手入れは、中性洗剤を水で薄めやわらかい布に浸し、よく絞ったもので、きれいに拭き取ってください。アルコールやシンナー、ベンジンなどの薬品を使いますと鍵盤の表面が侵されて見

苦しくなりますので、絶対にご使用にならないでください。

8：エレクトーンの椅子は、ニーレバーを横に倒した状態で演奏していた位置からそのままエレクトーンに近づけて頂き、椅子の左脚を足鍵盤の③と④の間に入れますとコンパクトに納まります。

※エレクトーンのスイッチを入れたままで、ラジオを近づけますとラジオから雑音が聞こえたり、放送が良く聞きとれない時があります。これはエレクトーンの発振音がラジオに入るためですので、エレクトーンのスイッチを切るか、または、エレクトーンから1 m位離してラジオをご使用ください。



保証とサービスシステム

■保証

エレクトーンの本保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年といたします。

ただし、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。

また保証は日本国内にてのみ有効です。

■保証書

エレクトーンの本納調整サービスの際、納調整者が保証書内へ必要事項記入のうえ、お客さまにお渡し申しあげます。

保証書をお受取りの時は、お客さまのご住所、お名前、お買上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。

無記名の場合は無効になりますのでくれぐれもご注意ください。

■保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社がエレクトーンをご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申しあげますが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。

万一の場合に備えて、いつでもご提示いただきますように充分ご配慮の上で保管してください。

また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別やサービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

■納入調整サービス

エレクトーンをお納めさせていただきますと、販売店からエレクトーンのご説明かたがたお納めしたエレクトーンの調子を最良状態にするよう点検調整にお伺い致します。

お求めのエレクトーンについてご不明の点およびお聞きになりたい点がございましたら、その節にお願い申しあげます。

■アフターサービス

1：保証期間中に万一故障が発生した場合にはヤマハ特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いします。

2：調整いたしました時には、必ず保証書をご提示ください。ご提示なき場合、あるいは紛失なされた場合には保証期間中でも有料になります。

3：この保証書は、サービスにお伺いした時に今後の製品改良の貴重な資料とするため技術者がお預

りさせていただきます。

お預りした保証書は、弊社支店に送られ、記録した後に各支店から直接お客さまにご返送申しあげます。この間、約1週間～10日間程度を要しますがご心配なくお待ちくださるようお願い申しあげます。

4：お買上げ楽器店より遠方に移転される場合は、事前にお買あげ楽器店あるいは弊社支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申しあげますと同時に引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。

■保証期間後のサービス

満1ヵ年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。

保証期間以後の移転の場合も保証期間中と同様にご連絡いただきましたら移転先の楽器店をご紹介いたします。

ヤマハエレクトーン 保証書 MODEL D-3R

このたびは、ヤマハエレクトーンをお買上げ頂きましてありがとうございます。このエレクトーンは厳重な検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による自然故障の際は裏面の保証規定により、無償にてご調整申し上げます。

お買上げ日	昭和	年	月	日
保証期間	1 年 間			

(保証書のご使用方法)

1. この製品が保証期間内に故障の際は、本誌をサービスの窓口にお送りください。
2. この保証書は、サービスにお伺いの際は、今後の製品改良の貴重な資料とする為、技術者にお預り致します。

お預りした保証書は、日本楽器製造株式会社に送られ、記録した後各支店から直接お客さまにご返送申し上げます。この間、約1週間～10日間程度を要しますが、ご心配なく、お待ちくださる様、お願い申し上げます。

〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
日本楽器製造株式会社

おとくなサービス依頼

人間がお医者さんにかかるのと
同じように、時にはエレクトーン
もエレクトーンのお医者さんにご
厄介になることがあります。

特にツユ時と、ツユ明けの頃が
病気にかかりやすく、エレクトー
ンにとっては一番いやな季節です。
これはちょうど我々人間にとっ
ても、この季節がいちばん病気に
かかりやすいのとよく似ています。

でもご安心ください。万一そん
な時にはエレクトーンがどんなに
重い病状でも、ヤマハが揃えた専
門のお医者さんが直ちに診療し、
元通りに、そして再び美しい音楽
を奏できるようにしてさしあげます。

こんな時など誰れでも心細い思
いをするものですが、安心してサ
ービスを依頼し、早く、しかも確
実に診療してもらう方法を知っ
ておくと、お得ですし便利です。

どうぞ、末永くエレクトーン
の健康管理にお役立てください。

■サービスをご依頼なさる前に

毎日使用していた電機器具があ
る日突然動かなくなり、あわてて
サービス技術者に来てもらったと
ころ、電源コンセントから電源コ
ードが外れていたなどという笑い
話のような本当のはなしは少なく
ありません。

サービス技術者をお呼びになる
前には、もう一度しっかり確認を
しましょう。

1. 必ずコンセントに電気が来て

いるかどうか、電気製品を接続し
てお確かめください。

2. この手引書の26頁にあります
「こんな場合は故障ではありません」
の項をもう一度ご覧のうえ、
ご依頼ください。

3. ご依頼いただきましたサービ
スにお伺いした際、故障でないよ
うな場合でも、点検代と出張経費
などの実費を頂戴させていただきます。

■お名前、お住まいはハッキリと

1. サービスをご依頼下さる時、
お名前、お住まいをハッキリとお
知らせください。

特に、アパートおよび他の方と
同居なさっていらっしゃる方など
は、アパートの名前や〇〇方など
の方書きまで詳しくお教えくださ
い。また、お訪ねする際の目標物
もあわせてお知らせ願います。技
術者ができるだけ早くお伺いす
るために大切です。

2. サービスをご依頼くださると
き、お店からお客さまにご連絡を
さしあげることもございますので
“連絡方法”もお知らせください。
たとえば電話番号(呼出含む)、お
勤め先の電話番号などです。これ
は、エレクトーンの様子について、
いま少しお聞きしたい時や、万一
突発事故によりお約束の変更をし
なければならない時など、お客さ
まにご迷惑をおかけしないですみ
ます。

■エレクトーンの様子はくわしく
お知らせください。

1. サービスをご依頼くださると
き、エレクトーンの様子をできる
だけくわしくお知らせください。
できれば、実際にエレクトーンを
お弾きになっていらっしゃる方
にお聞かせ願えれば、あらかじめ用
意する部品などが見当がつき、部
品などの為に再度訪問するなどの
ご迷惑をおかけすることがなくな
ります。

2. 時々調子のおかしくなるよう
な場合には、お手数でもその状態
をできるだけくわしくお知らせく
ださい。

たとえば①夜だけ音が小さい。
②ある時間だけ雑音が出る。③エ
レクトーンの出さなくても、
スイッチを入れるだけで雑音があ
る。④スイッチを入れて10分位、
ドの音程が狂うなどお知らせいた
だければ、技術者がお伺いしたと
きに正常で調整不能な場合や誤診
をすることもなく、早く確実にサ
ービスができます。

3. エレクトーンの種類、製造番
号など、サービスご依頼のエレク
トーンに関する詳細は保証書をご
覧になりながらお知らせください。

例えば、エレクトーンの種類名
製造番号、保証期間などです。使
用部品が製造時期やモデルにより
異なる事もありますので、お手持
のエレクトーンについて詳細をお

聞かせいただくと早く確実にサービスさせていただきます。

■サービスのお約束について

1. お仕事の関係で、昼間ご不在のお客さまや留守勝ちのお客さまは、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させて頂きたく存じます。

2. 万一、お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡ください。出張料の二重負担が防止できますのでお得です。

3. お店にサービス依頼をされたにもかかわらず、日時が経過してもなおサービス員がお伺いしない場合は、お手数でも下記にご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

■ヤマハのサービス網

■東京支店 東京都中央区銀座7-9-18パールビル内・技術課エレクトーン技術係 ☎(03)572-3111

■大阪支店 吹田市新芦屋下1-16・技術課エレクトーン技術係 ☎(06)877-5151

■名古屋支店 名古屋市中区錦1丁目18-28・技術課エレクトーン技術係 ☎(052)201-5141

■九州支店 福岡市博多区駅前2丁目11-4・技術課エレクトーン技術係 ☎(092)431-2151

■北海道支店 札幌市中央区南10条西1丁目ヤマハセンター内・技術課エレクトーン技術係 ☎(011)512-6111

■仙台支店 仙台市1番町2-6-5・技術課エレクトーン技術係 ☎(0222)27-8511

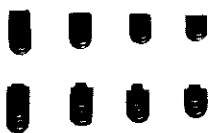
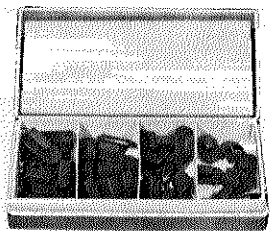
■広島支店 広島市紙屋町1-1-18・技術課エレクトーン技術係 ☎(08287)4-3787

■浜松支店 浜松市鍛冶町122
技術課エレクトーン技術係 ☎(0534)54-4111

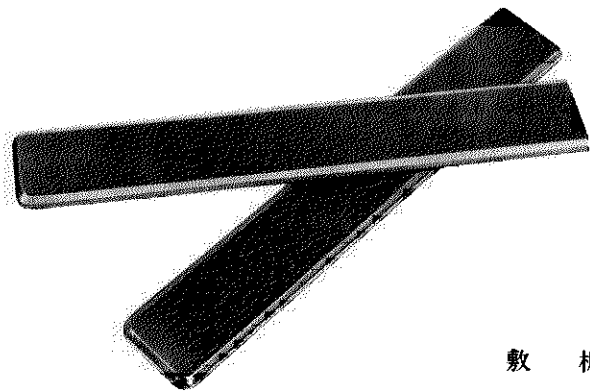
■本社 浜松市中沢町10番1号・電子楽器サービス課
☎(0534)61-1111

エレクトーンの付属品

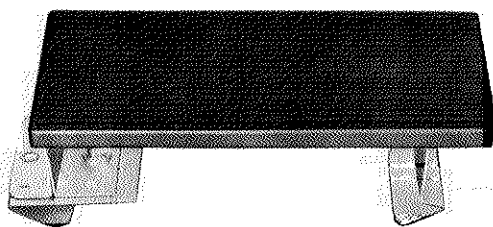
下記の付属品はエレクトーンの付属品として楽器店にて販売致しております。エレクトーン各機種に共通でご使用いただけますのでご利用ください。



レバーストッパー



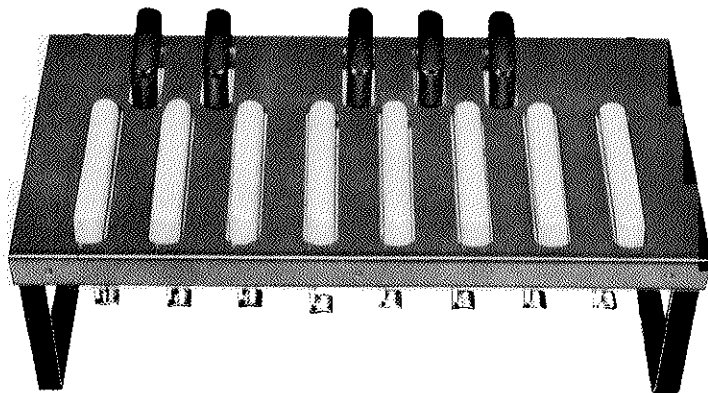
敷板



エクспレッション補助
ペダル



ヘッドホーン



ペダル鍵盤補助ペダル

- 本社・工場=〒430 浜松市中沢町10-1
TEL0534(61)1111
- 東京支店=〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
TEL03(572)3111
- 銀座店=〒104 東京都中央区銀座7-9-14
TEL03(572)3111
- 渋谷店=〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7
TEL03(463)4221
- 池袋店=〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL03(981)5271
- 横浜店=〒220 横浜市西区南幸2-15-13
TEL045(311)1201
- ジョイナス
ヤマハ店=〒220 横浜市西区南幸1-5-1/相鉄ジョイナス内
TEL045(311)6361~4
- 千葉店=〒280 千葉市中央4-2-1/まつだやビル内
TEL0472(27)8576
- 大阪支店=〒564 吹田市新芦屋下1-16
TEL06(877)5151
- 心斎橋店=〒542 大阪市南区心斎橋2-39
TEL06(211)8331
- 梅田店=〒530 大阪市北区梅田1/阪神百貨店5階
TEL06(345)4731
- 神戸店=〒650 神戸市生田区元町通り2-188
TEL078(321)1191
- 西国店=〒760 高松市丸亀町8-7
TEL0878(51)7777
- 名古屋支店=〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL052(201)5141
- 九州支店=〒812 福岡市博多区駅前2-11-4
TEL092(431)2151
- 福岡店=〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
TEL092(721)7621
- 小倉店=〒803 北九州市小倉区魚町1-1-1
TEL093(531)4331
- 北海道支店=〒064 札幌市中央区南10条西1丁目/ヤマハセンター内
TEL011(512)6111
- 札幌店=〒060 札幌市中央区南3条西4-12/エイトビル内
TEL011(512)6111
- 仙台支店=〒980 仙台市1番町2-6-5
TEL0222(27)8511
- 広島支店=〒730 広島市紙屋町1-1-18
TEL0822(48)4511
- 浜松支店=〒430 浜松市鍛冶町122
TEL0534(54)4111
- 海外支店=ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・シンガポール・フィリピン

●上記の本社・支店のほかに、全国1400の特約楽器店によるサービス・ネットワーク
がございます。お気軽にご利用ください。

エレクトーン®(ELECTONE®)は日本楽器製造株式会社の登録商標です。